

# 普及だより

●編集発行

大隅地域振興局農林水産部農政普及課  
肝属地域農業改良普及事業協議会

鹿屋市打馬2丁目16-6  
TEL：0994-52-2146  
FAX：0994-52-2147

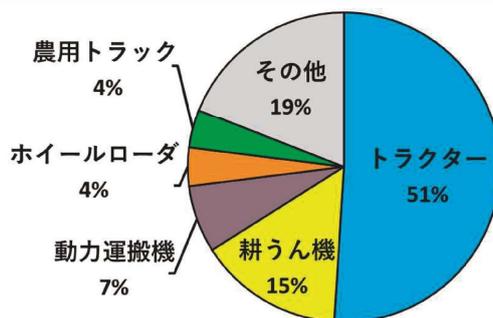
ホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/ao01/chiiki/osumi/index.html>



## <地域で防ごう！農作業事故>

鹿児島県では年平均13件の農作業死亡事故が発生しており、春と秋の農繁期に集中しています。事故要因はトラクターの転落・転倒による下敷きが最も多く、死亡された方の平均年齢は73歳です。

死亡事故を減らすため、以下に示す事故防止対策を実施し、**家族や近隣住民が声をかけあって**、地域全体で事故を防ぐ意識を持つことが重要です。



### 1 シートベルトの着用

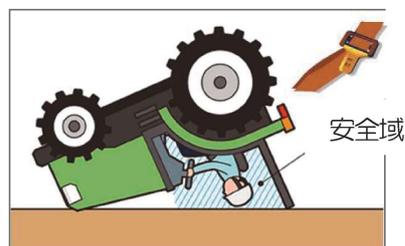
- ・ 転倒したときトラクターから体が放り出されないよう、シートベルトは必ず着用しましょう。
- ・ シートベルト未着用時の死亡率は着用時の8倍です。

声かけ例→「シートベルトは締めた？」

### 2 安全キャブ、安全フレーム付きのトラクター使用

- ・ 可倒式フレームは必ず立てて走行します。
- ・ 転倒・転落時の衝撃を吸収し、安全な空間を確保できます。

声かけ例→「フレームは立てて行ってね！」



### 3 危険箇所の確認、対策の徹底

- ・ トラクターで走行する農道等の崩れやすい場所や、草が繁茂しやすい場所では注意が必要です。
- ・ 特に降雨が続いた後は路肩が崩れやすくなっているため、トラクターで走行する前に道の状況を確認しましょう。
- ・ 危険箇所には、路肩ポールを設置や道路の整備等をしてしましょう。

声かけ例→「道が崩れてるかもしれないから気をつけてね！」

### 4 その他

- ・ 作業機等への巻き込まれを防止するため、裾や袖などが巻き込まれにくい服装とし、作業機に詰まった雑草等を取り除く時は、必ずエンジンを止めてから作業します。
- ・ 熱中症対策のため、こまめな休憩と水分・塩分補給に努めましょう。

～農道等通行時の主なチェックポイント～

<input type="checkbox"/> ほ場を出る前にブレーキを連結する。
<input type="checkbox"/> 坂道は勾配が緩く、天候が悪くてもスリップすることなく安全に上下できる。
<input type="checkbox"/> 車両に対して十分な道幅があり、路肩も視認できる。
<input type="checkbox"/> ほ場の侵入・退出路が確保され、安全に通行できる。
<input type="checkbox"/> トラクターの作業機に邪魔されない位置や、作業機に反射板が付いている。

# 知って得する！技術情報！！

## <茶：越冬密度を減らしませんか？-チャトゲコナジラミ->

近年、チャトゲコナジラミの発生が多く、すす病により樹冠面下が真っ黒になるほどの被害を受けている茶園も散見されます。

基幹防除は第一世代（5月）、第三世代（8～9月）ですが、隣接園の状況や他作業の関係で適期防除が困難な場合があります。

そこで、主要作業が落ち着いた秋整枝以降の防除により、一番茶期の成虫の密度を下げ、被害を低減する方法について紹介します。



写真1 すず病多発の状況

### 1 最終世代幼虫（越冬幼虫）の防除

秋整枝直後（10月下～11月上旬）が防除適期になります。

秋期のハダニなどの防除時期と重なるので、ハダニ発生が多い園では同時防除できる薬剤で防除してください。また、寄生部位である葉裏まできちんと薬剤がかかるよう散布してください。



写真2 幼虫寄生の状況

### 2 発生消長にあわせた「裾刈り」

裾刈りは、様々な管理作業を行いやすくするため実施されていますが、チャトゲコナジラミの成虫が飛ばなくなった「卵、幼虫期」に裾刈りを行うことで効率的な密度低下につながります。

# 知って得する！技術情報！！

## <直挿し定植時の発根に有利な土壌とは>

キクの直挿し栽培では、まれに発根不良が見られます。今回は挿し芽時の土壌管理を紹介します。

### 1 pHの影響

第4表は養液栽培の事例で、pH4～8の広い範囲で良好な発根が確認されています。このため、pHについては、あまり神経質にならなくても良いです。

第4表 養液のpHと発根

pH	根数	最大根長	乾物重 mg/20本
4	23	39	154
5	20	60	180
6	22	50	180
7	20	53	175
8	19	53	165

### 2 肥料分（窒素分）

以前は、切り口が腐敗しやすい、との理由から「肥料分を含まないこと」が挿し芽培地の好条件とされていました。

出典：キクのセル成型育苗における好適な培地条件について、西尾穰一ら、1994

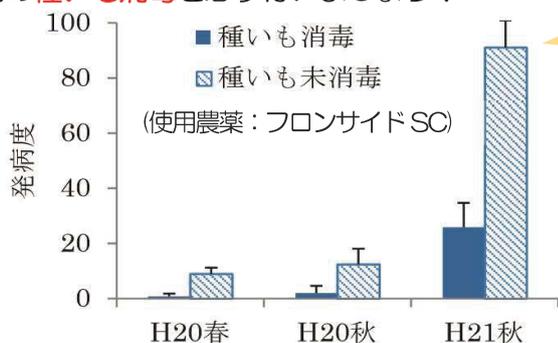
しかし、あらかじめ加えた肥料が発根を促進し、また、その根は発根直後から肥料分を吸収することが、明らかになっています。適切な施肥量は窒素分で12～18kg/10aとされており、普段の堆肥や元肥の施用で十分な量だと考えられます。

逆に過剰な施肥は発根にも悪影響を及ぼすので注意しましょう。

# 知って得する！技術情報！！

## <野菜編 ばれいしょのそうか病対策 種いも消毒の徹底を！>

そうか病の伝染源は、種いもや土壌からの伝染によるものです。外見上、病斑がない種いもでもそうか病の保菌リスクがあります。そうか病を発生させない、ほ場に持ち込まない対策として、植付け前の種いも消毒を必ず行いましょう！



種いも未消毒では、  
そうか病の発生が多い！



写真 そうか病が発生したいも

グラフ 汚染ほ場から採種した種いもを使用した場合の  
そうか病発生と種いも消毒の効果  
(農業開発総合センター 平成28年)

※ 現在、ばれいしょの種いも消毒に登録のある薬剤は、フロンサイドSCやセイビアーフロアブル20等があります。農薬使用の際は必ず登録内容を確認してから使用しましょう。

# 知って得する！技術情報！！

## <畜産編 基肥施用によるイタリアンライグラスの増収効果>

購入飼料などの生産資材が高騰していることから、自給粗飼料の増産が急務となっています。イタリアンライグラスの作付け時に基肥を施用することで、収量が約4割増加します。

- 生育状況
  - 基肥施用区では無施肥区に比べ草丈が約2倍
  - 基肥施用区では葉色が濃く初期生育良好 (写真)
- 収量調査
  - 基肥施用区の乾物収量は約4割増加

表 収量調査結果

区分名	草丈 (cm)	生草収量 (kg/10a)	乾物収量 (kg/10a)
無施肥区	134	3,854	747
基肥施用区	144	4,746	1,018



基肥施用区 無施肥区

基肥施用は飼料作物生産においても増収効果が発揮されます。「基肥施用」と「適期適作」と組み合わせて自給粗飼料増産に取り組みましょう。

写真 生育調査時  
(令和5年2月10日)

## <農福連携に取り組んでみませんか？>

### 農福連携とは

障害者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していくことで、農業・農村と福祉、双方の課題解決とメリットがある取組です。

### 肝属地域における農福連携の取組拡大中！

農業経営体と福祉事業所が、農作業に関する請負契約を締結し、ほ場等で障害者に農作業を実施してもらう「施設外就労」による農福連携の取組が増えてきており、農業の人手不足の解消、障害者の就労や生きがいづくりに繋がっています。

作業日・時間・人数・工賃（作業の対価）等は双方で話し合って決定します。

作業には必ず福祉事務所の指導員が同行し、一緒に作業するので安心です。



お試しで半日程度、障害者に農作業を実施してもらう「お試しノウフク」もあります。

お試しノウフクの詳細については以下へお問合せください。（大隅地域振興局農政普及課 0994-52-2142）

### 大隅半島ノウフクコンソーシアム

福祉事業所、農業者、行政等が会員となり、大隅地域における農福連携のプラットフォームとなるべく、令和3年度に設立された組織です。

農福連携に関する研修会の開催、会員によるノウフクJASの取得・各種イベント等の開催、福祉事業所と農業者のマッチング支援等を実施しています。



## <収入保険制度を活用しましょう>

全ての農産物を対象に、自然災害による収量減少や価格低下をはじめ、農業者の経営努力では避けられない様々なリスクによる収入減少を補償します。

自然災害や病虫害、鳥獣害などで収量が下がった

市場価格が下がった

災害で作付不能になった

けがや病気で収穫ができない

倉庫が浸水して売り物にならない

取引先が倒産した

盗難や運搬中の事故にあった

輸出したが為替変動で大損した

**加入できる方は青色申告を行っている農業者（個人・法人）です。**

※ 加入申請時に青色申告（簡易な方式を含む）の実績が1年分あれば加入できます。

なお、個人の方は12月迄、法人の方は事業年度の末月迄が加入申込み期限となっています。

**詳しくはお近くの農業共済組合にお問合せください。**